

# 日立Astemo株式会社 佐和工場 環境保全活動状況

## ■はじめに

当事業所は、1930年株式会社日立製作所自動車用電装品の国産化から始まり、1964年自動車機器事業部設立、1985年以降の北米、欧州、アジア地域への進出さらには、2004年の旧トキコ株式会社、旧株式会社日立ユニシアオートモティブとの3社統合などを経て事業を発展、拡大してきました。2009年7月には株式会社日立製作所から分社独立、2021年1月には、旧株式会社ケーヒン、旧株式会社ショーワ、旧日信工業株式会社との4社経営統合し、現在の日立Astemo株式会社に至ります。

当事業所は、自動車部品を製造し、それらをトータルで最適化したシステムとして提供するメーカーであり、「人・クルマ・社会」に新たな価値を創造し、夢を実現する企業をめざして、「環境」「安全」「情報」の3分野における自主技術・自主製品の開発やモノづくりを通して地球環境に配慮したエコファクトリーやエコプロダクツなどを限りなく追求しています。

具体的には、自動車に求められるゼロエミッションや超低燃費の実現、安全・安心の高度化に向け、その主要システムおよびコンポーネントを開発すること、また、これらを製造してお客様へお届けする輸送を含めたモノづくりにおいて、CO<sub>2</sub>、廃棄物、資源循環、化学物質管理徹底といった環境負荷を高いレベルで低減すること。

この両輪で着実に環境経営を推進しています。

## ■環境方針

企業理念である、「私たちは、世界をリードする先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会と人々の豊かな生活の実現に貢献します。」というambitionのもと、私たちの事業、活動を始め、生み出す製品およびサービスが、地球環境に深く係ることを認識し、その保護を積極的に推進します。

### スローガン

「私たちの地球環境保護への行動で、環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献します。」

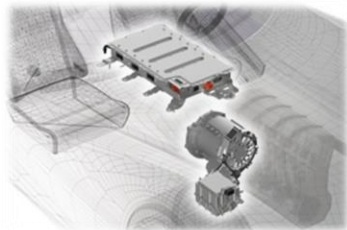
### 重点取り組み事項

- 1) 環境関連法令の順守と汚染の予防
- 2) 環境管理機能の整備と継続的改善
- 3) 製品のライフサイクルに亘るグローバルなモノづくり推進
- 4) 生態系の保全
- 5) 教育訓練、意識の向上
- 6) 情報の開示



## ■取り組み事例（環境配慮型の開発・設計の推進）

### ● 電動パワートレインシステム



ゼロ・エミッションビークル規制への対応など、電動化の進展が顕著になっています。ハイブリッド自動車（HEV）に加え、プラグインハイブリッド車（PHEV）、電気自動車（EV）、さらには電源を48Vとしたシステムなどが登場しています。

当社は、環境規制対応に欠かせない電動システムで、電動パワートレインの主要機器であるモーター、インバーター、リチウムイオン電池を開発しています。これらの製品で環境性能と走行性能の最大化を実現する技術開発を進めています。

### ● エンジンパワートレインシステム



グローバルに強化される環境規制に対応するため、燃料エネルギーを無駄なく運動エネルギーに変換し、CO<sub>2</sub>などの排気を低減する必要があります。

当社では、内燃機関を高効率化する筒内直接噴射エンジンシステム、バルブタイミングコントロールをはじめとする高効率エンジンシステムの開発を進めています。また、シミュレーション・解析技術の活用と各種コンポーネントの継続的な進化を通じ、熱効率向上、クリーンで環境負荷を低減するエンジンを実現します。

# 日立Astemo株式会社 佐和工場 環境保全活動状況

エネルギー使用は、事業活動にとって必須であると同時に、CO<sub>2</sub>の排出は地球温暖化の主要因となっています。当工場では、CO<sub>2</sub>換算排出量原単位を前年比1%削減を目標とし、省エネ機器への変更やコンプレッサ分散化等の活動を推進しています。

今後も引き続き、省エネ機器の導入やエネルギー使用効率の向上に努め、地球温暖化防止活動を推進していきます。

## 【グリーンカーテンの実施】



構内

市福祉施設つだ保育所にて共同実施(下、左下)



## 【テクニカルセンタ屋上施設】

(太陽光発電施設(100kW)設置)



## 【11号棟屋上施設】

(太陽光発電施設(550kW)設置)



市HP掲載リンク：<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/soshiki/7/4/1/5697.html>

## ■資源循環活動

当事業所では、廃棄物の分別徹底による3Rの推進、埋立て廃棄物ゼロの推進を目標とし活動を推進しています。徹底した分別廃棄等の活動結果、2009年3月にリサイクル100%、埋立て廃棄物ゼロを達成しました。また、生産工程での不良低減や原材料使用量削減などの活動により、廃棄物発生量を削減しています。

廃プラスチックにおいては、より環境負荷を減らすために、“プラスチック原料に戻す処理(マテリアルリサイクルという考え方)”への移行を可能な限り拡大しています。

材質毎の分別を全従業員が徹底し、着実に実績を挙げています。

### ○部品トレイのリサイクル化

【処理方法：分別 → 回収 → リサイクル】



### ○発泡スチロール・梱包材のリサイクル化

【処理方法：分別 → 回収 → 減溶作業 → リサイクル】





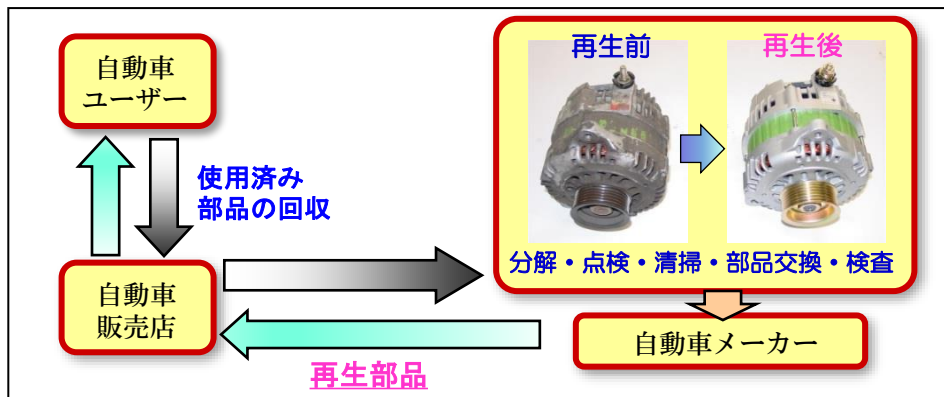
# 日立Astemo株式会社 佐和工場 環境保全活動状況

## ■資源循環活動

### 【事例：使用済み製品の回収・リサイクル】

使用済みとなった製品を回収し、分解・点検・清掃・部品交換等を行い、再生製品として自動車メーカーへ納めています。

◇社外表彰：平成28年度 資源循環技術・システム表彰 経済産業省産業技術環境局長賞 受賞



## ■その他の活動（定期的な取組み・表彰案件）

### ◇地域活動への取組み



海岸清掃活動への参加

### ◇環境汚染の防止



職場毎の緊急事態想定訓練（訓練風景）

### ◇環境報告書



弊社の環境報告書をホームページに掲載していますので、下段に記載のURLからご参照願います。

### ◇受賞情報

茨城県地球にやさしい企業表彰

- ・平成28年度 環境マネジメント部門
- ・平成30年度 環境パートナーシップ部門